

カレンダー付録
Take Free
ご自由にお持ち下さい

なでしこ Cheers! 【チアーズ】

頑張る人達とあなたへ声援を届ける医療と健康のフリーマガジン

Medicalレシピ 今月のワンプレート

三種きのこの
【鑪】みぞれ鍋 ~柚子風味~

スタッフリーコラム
IHOJIN

登録医訪問
水戸部クリニック

様々な立場から「肝臓病」を知る。
沈黙の臓器へのいたわり。
第5回肝臓病セミナー

多くの方々との連携が地域の支援に。
第4回済生会生活困窮者問題
シンポジウム in Niigata

2016年 済生会新潟第二の展望
院長・吉田 俊明
看護部長・古俣 ひろみ



さいせいかいにいがた

社会福祉法人 財団 済生会
済生会新潟第二病院

2016
FEBRUARY

1

周術期のリスクを摘み取る
手術室のボランチ

飛
田
俊
幸

周術期のリスクを摘み取る

手術室のボランチ

飛田俊幸

麻酔科とは

手術の際、患者さんを侵害的刺激から守るためにものが麻酔です。呼吸・循環・内分泌・代謝など全身の状態を良好に保つことを麻酔管理といいます。具体的に麻酔科の業務は、以下の通り。

- ①手術前に患者さんの状態を把握する。
- ②カルテや検査データを確認、診察を行い、必要に応じ更なる検査を実施。
- ③予定される手術の術式と患者さんの状態から最適の麻酔法・麻酔薬を選択し、手術中起きたり得る状況への対策を立て、麻酔計画を立案。
- ④手術時は、麻酔計画に沿って全身管理を行い、患者さんのそばで各種モニターを用いて状態を把握。
- ⑤手術後は、身体の機能を患者さんご自身で行えるようサポート。

人口10万人あたりの麻酔科医の数が[※]県別で低い水準に入るという新潟県。

稀少な麻酔科医の一人として

年間5百人以上の患者さんに携わる

飛田医師に、麻酔科医の役割・心掛けなど

さまざまなお話を伺いました。

(※)…全国平均8.0に対し、新潟県は4.9で最下位。(厚生労働省の平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査による)

Profile Toshiyuki Tobita

昭和63年	新潟大学医学部卒業
	新潟大学医学部附属病院 医員
平成元年	竹田総合病院
平成2年	東京都立神経病院
平成6年	新潟大学医学部附属病院 文部教官助手
	竹田総合病院
平成9年	新潟大学医学部附属病院 麻酔科助手
平成11年	同 手術部助手
平成12年	同 周産母子センター講師
	長岡中央総合病院
平成14年	新潟大学医歯学総合病院 麻酔科講師
平成26年	済生会新潟第二病院 麻酔科部長

予期せぬ異常事態に対応することも重要な仕事。要するに麻酔科医は、手術の間とその前後、患者さんを守る専門家なのです。患者さんが心安らかに手術を受けてもらえるよう、また執刀医が望み通りの手術を行えるよう、あらゆることに気を配りながら幅広い業務を担当しています。

麻酔の役割と 済生会としての取り組み



済生会新潟第二病院は「麻酔科認定病院」。日本麻酔科学会の審査を経て認定されるもので「より安全で、より良い麻酔医療を安心して受けられる」目安のひとつとなっています。当院で年間約4千5百件ある手術のうち、麻酔科が担当する手術は3千件。中でも、麻酔科部長である飛田医師は年間5百件以上の麻酔管理を担当します。

「手術中においては、呼吸や血圧、心電図の乱れがないか? 波形や数値は安定しているか? どうか? など、患者さんの状態をチェックしながら安全管

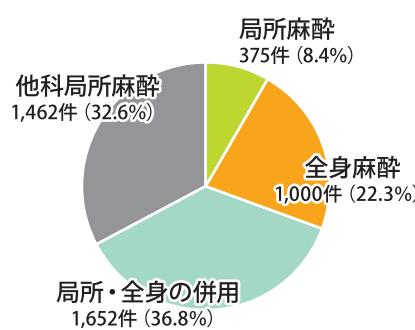
理に努めます。脱水を是正したり、必要に応じて輸血を行うなど、状況に応じた素早い判断も求められます」と飛田医師。この「手術麻酔」から派生し

て「ペインクリニック(神経ブロック療法や薬物療法などを用いて有害な痛みを緩和する治療)」や「集中治療(蘇生・救急医療)」も領分となります。

「手術麻酔」の中には、局所麻酔と全身麻酔があります。「痛みが神経に伝わる前にブロック(遮断)するのが局所麻酔。全身麻酔はさまざまな薬剤を用いて患者さんの意識を無くすことで手術を可能とする方法です。患者

さんの症例や手術部位に合わせて、局所麻酔と全身麻酔を併用することもあります。神経ブロック療法と組み合

わせた麻酔管理の実施数は、県内でも有数だと思います。また、当院ではより早い回復のために、積極的に『術後疼痛管理』を行っています。患者調整鎮痛法を用いて、痛みの程度により患者さん自身で痛み止めを投与できるシステムを採用しています。」と、丁寧な説明をいただきました。



当院手術における麻酔の状況
(平成26年 総件数4,489件 / 当院調べ)
色のついている部分が麻酔科の担当分

飛田医師は、ご自身の業務をどのようにお考えなのでしょうか。

「一般的には、麻酔科の業務＝オーケストラの指揮者やパイロットなどに例えられるのですが、個人的にはそんなに目立つ仕事であってはいけないと考えています。派手な蘇生や心臓マッサージなど、見た目にも活躍するようなシーンがないことが望ましい。当たり前のことをしつかり行いながらも、陰で患者さんと専門医を支えることが理想です」と語ります。

その言葉通り、飛田医師が済生会に赴任してからというもの、手術中の事故を無くすためチーム全員で声に出してチェック項目を確認する作業を徹底したということ。また全体の手術スケジュールがひと目で把握できるよう、パワーポイントの表組みを実施するなど、「目立たないが、確実に危険やリスクを読み取る業務」を心掛けています。それが、例えばサッカーなら「ボランチ＝ピンチを防ぎ、チームのバランスを取る守備」ポジションに匹敵

麻酔に対する考え方



するといいます。

「患者さんから「リスクは何%ですか?」と聞かれることがあるのですが、それが例え0.1%であっても、患者さんにとっては自分の身に起きるか起きないかということが大事。合併症などは完全に防げると断言することはできませんが、丁寧に説明して、不安や心配を引き受けていくことが使命だと思います」と飛田医師。

ひと昔前、麻酔にも職人技・名人技が求められた時代がありましたが、今では「誰が行つても同じ」患者さんの状態をつくることができるようになりました。それこそが、医療や機械の進歩であると飛田医師は説きます。

最後に、こんなお話も。「普段、外出するときに、交通事故に合うかもしれない」とビクビクしながら道を歩く人は少ないのでしょう。それが、晴れた日で、歩道やガードレールがある場所ならなおさらです。患者さんの状態によつては、雨や雪道で、多少視界が悪くなる事があるかもしれません。リスクは状況把握と適切な対策でコントロールする事ができます」必要以上に不安を抱える事はない、安心して麻酔のプロに任せよう、と思える心強い例え話は、責任感と自信に裏打ちされたものといえます。



患者さんへのメッセージ



『患者さんからの依頼ではない』といふ点。「手術が決まった後、麻酔科に依頼が来る経緯上、各科の専門医がお客様であると勘違いしがちですが、そうではなく、あくまで『患者さんが中心の医療』が根幹です」と飛田医師。更に、「手術・全身麻酔と言われたら誰でも不安でいっぱいでしょう。」生きて帰りたい「なるべく痛みを少なく」と考えるのは当然です。私たちは、そんな患者さんの思いに全力で応えたい。当院には、腕の立つ医師を中心とした優秀なチームメンバーが揃っています。より良い手術と術後まで、しっかりとサポートさせていただきますので、どうぞ安心してお任せください」という力強いメッセージをいただきました。

「患者さんの安心を支える」 Dr.飛田俊幸のインタビューこぼれ話

編集スタッフの取材に、一つひとつ丁寧に答えてくださった飛田先生。医師を目指すようになったエピソードからプライベートな一面まで、明るく気さくな人柄にフォーカスしてご紹介します。

★学生時代のスポーツについて

中学は剣道部に所属し、居合道二段の腕前(高校時代は専ら、勉強に勤しんでいたそう)。また大学はラグビー部で活躍していた飛田先生。「大学卒業後も何かしらスポーツは続けていましたが、右手や右半身に不調を感じるようになり、頸椎の手術を受けることになりました。今でも首もとに手術痕が残っています。今はスポーツ観戦が主ですね」サッカー・野球・アメフト・柔道・アイスホッケーなど、幅広くスポーツ観戦を楽しめているそうです。

★年間パスはもちろん! 大のアルビファン

休日の過ごし方をお聞きすると「アルビレックスの試合を見に行くことが多い」とのこと。年間パスポートを購入し、ホームを中心に、チャンスがあればいつでも応援に駆けつける本格的なサポーター。

「試合がないときの広大で静かなスタジアムも好きですし、試合前後の混雑も観戦のうちと楽しんでいます。大学病院から済生会に移る際、アルビファンの私に(色紙代わりとして)レプリカユニフォームに寄せ書きをしてもらった記念品は、今でも大切な宝物です」

★医療の道を志した経緯

中学生のときにはすでに『医者になる』と決意していた飛田先生。一度も進路がブレることはなかったとのこと。「振り返ると、保育園・小学校時代から野口英世やルイ・バストールの伝記などが家にあったので、私を大学に入れたかった両親が、それとなく医者になるよう誘導していた様な気がします(笑)」

★患者さんの不安を取り除くために

手術が始まる前の患者さんへの声掛けにも先生の優しさが表れています。
「ゆっくり深呼吸しましょう」「大丈夫ですか?」「ちょっとチクッとしますね」
「まだ眠くなりませんよ」「もう少しです。気分はいかがですか?」
少しでも患者さんの緊張を和らげたいという想いが伝わる、柔らかな雰囲気づくりが心に残りました。



手術室の靴は、アルビカラーであるオレンジです。院内でこの色を履いているのは私だけです(笑)



2016年 済生会新潟第二の展望



新年のご挨拶

地域医療の基幹として、求められる変革と
当院の果たすべき使命

院長 吉田 俊明

新年にあたり、ご挨拶申し上げます。

済生会新潟第二病院は急性期医療(精密検査・入院治療・手術)を主な仕事として地域医療に貢献してきました。少子高齢化社会を迎える日本の医療提供体制が変わりつつある現在、当院はその使命について再確認し、自らを変えてゆくことが必要です。2016年4月より、回復期リハビリテーション病棟を開設します。これは整形外科手術後の患者さんを中心に適切なリハビリテーションを提供することを目的としています。術前から術中、リハビリとシームレスに医療を提供できることは患者さんの利益につながるものと期待しています。

当院は子育て支援の一環として2015年12月17日より病児デイサービスセンター「病児保育室さいせいかい」を開設しました。また2016年4月より事業所内保育「なでしこ

つぼみ保育園」を開設予定です。これらは地域の方々にもご利用いただける施設ですので、皆さまのご利用を切にお願いします。

当院は社会福祉法人であり経済的・社会的に困難な方を支援する責務があります。その一つが無料低額診療事業で、診療費の自己負担分支払いを免除する制度です。支援する患者さんの数を倍増したいと考えていますので、躊躇せぬお声掛けをお願いします。

当院は地域の医療機関と連携して診療を実施してきました。今後はこの医療連携を基盤にして、在宅医療や介護の支援も視野に入れて新潟市西地区の医療・介護を下支えする所存です。地域にお役立ちできることは何かを常に考え事業を行ないますので、今後ともご支援をお願いします。



医療・福祉において困っている方を **濟(すく)**い、地域の**生(いのち)**を守る 会を上げての取組み

看護部長 古俣 ひろみ

謹んで新年のご挨拶申し上げます。

また重ねて、日頃よりの済生会新潟第二病院へのご支援・ご協力に深くお礼申し上げます。

昨年度は社会保障制度改革の推進や消費税増税等、国政からの影響が強く、病院にとって厳しい年となりました。しかし、そのような状況のもと、ブックカフェ&コンビニエンスストアや病児保育園等の施設をオープンすることができました。これは偏に、地域の皆様方のお力添えがあったからと心より感謝しております。誠にありがとうございます。

なお、今年の4月には、新潟市認可保育園の開園と回復期リハビリテーション病棟を開設する運びになっております。回復期リハビリテーション病棟は、これまで当院の診療機能(急性期機能)では成し得なかった、患者さんが他

の病院や施設に移ることなく、病院から住み慣れた地域に戻ることを目的とした訓練(リハビリテーション)中心の病棟です。これは、医療を地域につなぐ済生会の本来の姿に沿うものであり、新しい済生会新潟第二病院の幕開けとなります。

我々は社会福祉法人=恩賜財団=済生会として、新潟市西区の地で地域住民の皆様と地域医療を支えていくことを目指し、今年度も皆様に愛される病院づくりに向けて取り組んで参りたいと考えております。本年も、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様方にとって良い年になりますよう祈念いたします。

Medicalレシピ

今月のわんふわーと

・ごめでとう・
・ございます・
・明けましておめでとうございます

●監修●栄養科 佐藤 かえで



栄養量(1人分): エネルギー 250kcal、塩分 2.5g

<材料(2人分)>

生しいたけ	2枚
しめじ	1/2株
舞茸	1パック
大根	200g (1/5~6本)
ねぎ	100g (1本)
にんじん	40g (1/4本)
鶏もも肉	120g
木綿豆腐	150g
生姜	1片
酒	大さじ1
しょうゆ	大さじ1と1/2
塩	0.5g

《だし》

水	3カップ
昆布	6g
鰹節	12g

《簡単なだしの取り方》

- ①昆布の表面の汚れを軽くふき取る。
- ②熱湯に昆布と鰹節を入れ、2分おく。
- ③布巾やキッチンペーパーなどでこす。



《薬味》

柚子	1/4個
七味唐辛子	好みで

今月のポイント



弱火でじっくりと煮ることで、だしに素材のうま味が引き出されます。鶏肉やきのこのうま味、生姜や七味の辛み、柚子の香りなど薄味に感じない工夫がたっぷり。

日本最大の料理レシピサイト「クックパッド」にレシピを公開しています。オンラインでチェックまたは、栄養科健康レシピのバックナンバーは、当院のホームページの「院外報なでしこCheers!」からダウンロードすることができます。

寒いこの時期に食べたくなる
あったかいお鍋。
野菜がたっぷりとれて
手軽に作れる鍋ですが、
鍋つゆの塩分をあまり気にせず
食べてしまいがち。

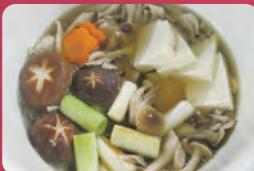
減塩

みぞれ鍋(柚子風味)

Photographer:takayuki kuwabara

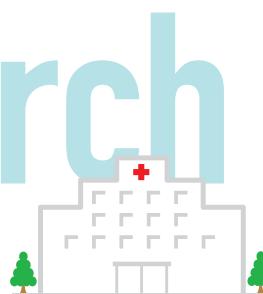
○作り方

- ①生しいたけは軸をとって飾り切りし、しめじと舞茸はほぐす。にんじんは3mm幅の半月切りにするか、型で抜く。
- ②鶏もも肉は一口大に、木綿豆腐は2cm厚さに切る。ねぎは4cm幅に切り、焼き目がつくまで素焼さに。大根はすりおろして軽く汁気を切っておく。
- ③鍋にだしと酒、薄くスライスした生姜、鶏もも肉を加えて弱火にかける。
- ④煮立ったら①を加え、さらに10分程煮る。
- ⑤木綿豆腐とねぎを加え、さっと煮たら、しょうゆと塩で味を調える。
- ⑥仕上げに大根おろしをのせ、好みで柚子と七味を加える。



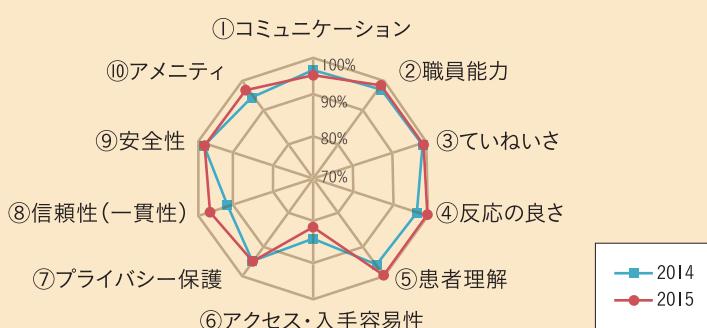
research

vol.1

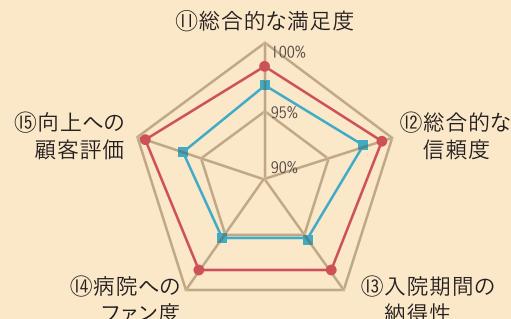


I) 総合的な設問(満足度)

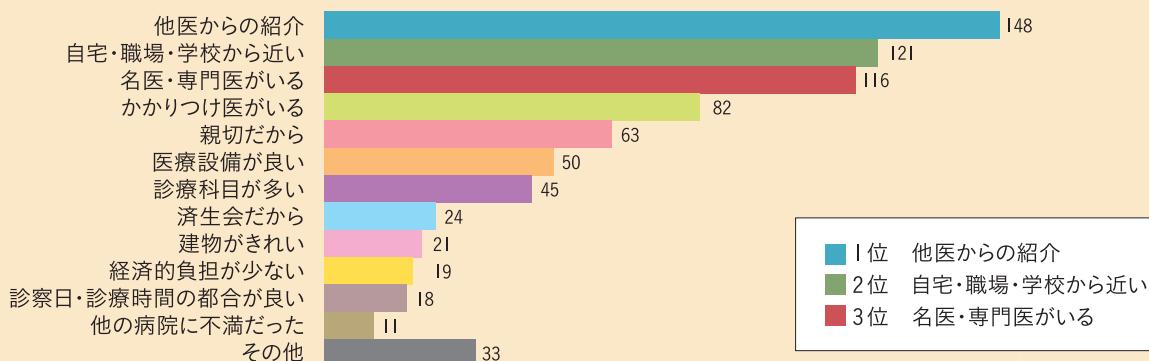
① 医療サービスとして重要な10の項目について



② 当院への総合的な満足度について



2) 患者さんが当院を選択した理由(複数選択あり)



3) 患者さんの自由記述

次のような評価の言葉をいただきました。職員にとりまして今後の励みとなります。ありがとうございました。

評価点

安心します。
調と柔らかな感じはとても
不安な気持
ちで来ている
ので優しい口



評価の言葉

頂き安心できる病院です。
又とても清潔できれいです。
患者側に立つ
いろいろ心
配りをして



評価の言葉

改善するべき点として、次のようなご意見・要望もいただいております。

改善点

待ち時間がある程度教えて欲しい

予約時間から大幅に遅れる…など

外来の待ち時間に関しては優先順位をつけ、改善に取り組んでおります。
今後も、引き続き対策を実行して参ります。

次回は〈入院〉アンケートの結果を報告いたします。
(サービス向上委員会)

スタッフ
リレーコラム

土田理学療法士からバトンタッチ 次回はこの人！

その笑顔には人柄の良さ、やさしさがにじみ出ています。たしかお家には暖炉があるとか？ うらやましいなあー。これからもよろしくお願ひします。

リハビリテーション科 理学療法士 坂 知彦



Next!

私の息抜き

趣味というと大げさなので、日頃私が楽しんでいる事、息抜きを紹介します。

山登り、スキーや水泳、映画鑑賞、音楽鑑賞、編み物等です。何だか色々あるんだなーと思われがちですが広く、浅くです。年々体力の衰えを感じつつ過ごしていますが、若い頃と違って、この先どの位あるかわからないと思うと焦りを感じ、色々な事にチャレンジしている今日この頃です。

でも実は私、運動オーナーなのでマスターするのに人の何倍もかかります。でも、諦めないしつこい所があるので、今まで続いているんだと思います(笑)。これからもこの性格を生かして新しい事にも挑戦していきたいと思っています。ちなみに毎日の食事作りを手抜きするために、保存食作りにも精を出しています。

息抜きと手抜きで暮らしています(笑)。

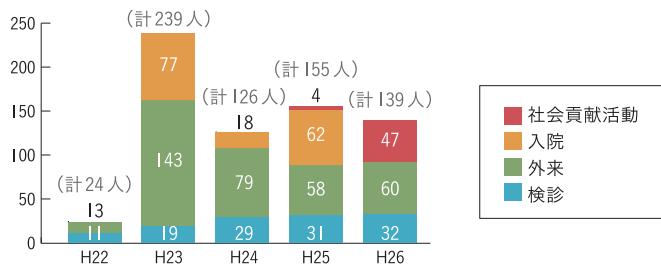
seasonal journal

第2回更生保護関係者への研修会

10月7日(水)更生保護施設新潟川岸寮にて、入所者の生活や就労等の困り感軽減を目的とする2回目の研修会を、地域連携福祉センター主催で開催しました。川岸寮職員並びに、更生保護関係者、21人が参加されました。

はじめに、MSW 渋川が川岸寮との医療連携について講演しました。利用人数は年度によって増減していますが、事業は確実に定着してきていること(下グラフ参照)、25年度の3月から社会貢献活動の受け入れ開始、今年度からインフルエンザの予防接種を実施しており、事業内容が拡大していることを説明しました。

●済生会新潟第二病院実績



次に、事務員の小西が特別支援教育に携わった経験を活かし、困り感軽減についての講演をしました。初回の講演で質問のあった「冷蔵庫の中の他人の物を自分の物と誤ってしまう」ことの対応では、視覚に訴え理解を得ることについて、実際に使う手作りの道具を写真や实物を使い説明しました。(右写真参照)



また、発達障害者等の支援は幼少期から行い、かつ、画一的な支援ではなく、全てがその人に合ったオーダーメイドの支援が効果的であることを説明いたしました。

研修後の質問も多く、今回も時間が足りないほどでした。次回は就労支援についての話題を中心に、研修を開催いたします。

(地域連携福祉センター MSW 渋川 健史)



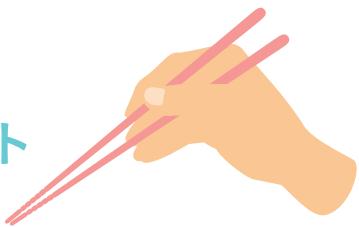
research

vol.2

栄養科では、入院患者の皆さんに喜ばれる
おいしい給食を作るために嗜好調査を行っています。
今回は平成27年9月16日に入院の患者さんで、
普通食を食べた方(男性34人、女性35人)に
ご協力をいただきました。
その結果がまとまりましたので
ご報告いたします。



入院患者さん 給食アンケート 結果発表



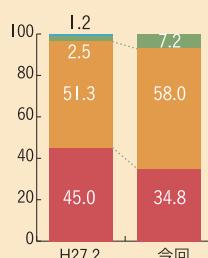
今回の調査では、前回と比べて全体に「満足」の割合が減りました。味噌汁とおかずの不満の理由として多く挙げられたのが「味付けが薄い」でした。給食では1日の塩分量を約9gになるように作成しているため、そのように感じる方も多いかと思いますが、限られた塩分の中でもおいしいと感じる味になるよう、今後も献立や調理法を改善していきたいと思います。また、旬の食材や新鮮な食材を利用し、食品の質を維持・向上したいと思います。

給食に関する意見・要望等も多数いただきました。「グレープフルーツが少々食べづらい」「温野菜サラダ、もう少しドレッシング多めにして欲しい」「たまにで良いので、デザート(甘いもの)が出るとうれしい」など、普段患者さんが感じている不都合なことや、ご要望を知ることができました。今後献立や調理を検討する際の参考にさせていただきたいと思います。また、「栄養も大切だが、患者の年齢別、あるいは、患者の意見も重視した方が、もっと食生活が楽しくなるのでは」との意見もあり、食種を設定する際は年齢や状態の把握、訴えの聞き取りがより重要と感じました。

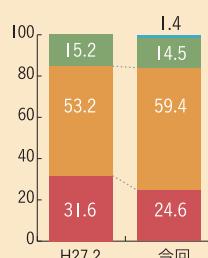
そして、感謝の言葉もいただきました。「地元の食材を使っていると感じた。チンゲン菜の帆立煮はよかった。献立表があるのがよい」「毎日のことですから、感謝の心でいただいております。毎日ありがとうございます」など、このような言葉は大変うれしく励みになります。今後も心をこめておいしい食事作りの提供を目指していきたいと思います。

アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

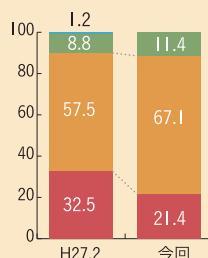
ご飯の満足度



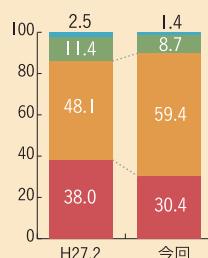
味噌汁の満足度



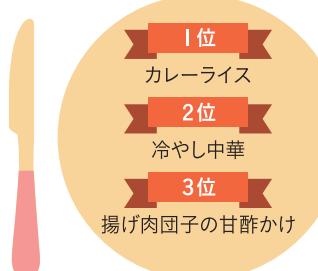
おかずの満足度



全体の満足度



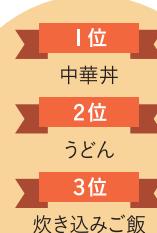
給食でおいしかった料理



給食で食べたい料理【男性編】



給食で食べたい料理【女性編】



様々な立場から「肝臓病」を知る。 沈黙の臓器へのいたわり。

2015.11.7 開催

第5回肝臓病セミナー



平成27年11月8日、新潟ユニゾンプラザにて「第4回済生会生活困窮者問題シンポジウム in Niigata」を開催しました。本シンポジウムは済生会が年一回開催しており、東京・山形、大阪に続き本県で4回目です。

「新潟における生活困窮者の自立支援と地域づくり」私たちは

して、新潟ユニゾンプラザで肝臓病セミナーを開催しています。同時に、同一会場で肝炎の無料検査を新潟県主催で行っています。セミナー開始前に採血をして頂けると、セミナー終了までに結果を聞くことができます。

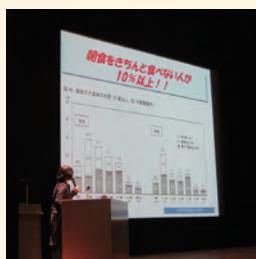
平成27年11月7日(土)に「第5回肝臓病セミナー」が新潟ユニゾンプラザで開催されました。

肝臓がんの主要な原因是、肝炎ウイルスの持続感染です。肝臓は沈黙の臓器と呼ばれ、初期には自觉症状がほとんどありません。肝臓がんにならないために、まず自分が肝炎ウイルスに感染していないか調べていくことが大切です。

次回は、3月26日(土)当院で肝炎、肝硬変をテーマに肝臓病教室が行われる予定です。どなたでも参加できますので、興味のある方々に参加して頂きました。

(肝臓病教室運営メンバー一同)

元々は、病院内で年3回肝臓病教室を開催していたのですが、一般の方にも気付いて多くの人に知つてもらいたいという思いから、一年に一回院外企画と



2015.11.8 開催

第4回済生会生活困窮者問題シンポジウム in Niigata



「新潟における生活困窮者の自立支援と地域づくり」私たちはどこで『力』をつけ、どんなプロセスで『自立』に向かうのか?」をテーマに、済生会本部・岸谷茂理事長の挨拶に続いて、新潟大学大

学院医歯学総合研究科・高橋英樹教授による基調講演と6人のシンポジストによる発表が行われました。他にも沼垂地域の若者自立支援や、栃尾地域の農障高齢者連携による地域おこし活動などの発表があり、地域独自の取り組みが印象的でした。

最後に、新潟県済生会・上村朝輝支部長より、「済生会最大のミッションは生活困窮者支援であり、今日のシンポジウムの成果を踏まえ、多くの方々と連携しミッションの実現にさらに努力したい」との挨拶がありました。福祉医療関係者ら約200人が参加され、大盛況のうちに幕を閉じました。

(医療福祉相談室M.S.W
磯部千恵美)

多くの方々との連携が地域の支援に。

連携医療機関(登録医・病院)からの紹介予約窓口…地域医療連携室／直通
TEL 025-233-6182 FAX 025-231-5763 平日 8:30~17:00(土・日・祝日を除く)
※患者さんからの予約はお取りしておりませんので、ご了承下さい。

登録医訪問



水戸部クリニック

水戸部 彰彦(みとべ あきひこ)先生 〒950-1214 新潟市南区上下諏訪木731-1 ☎ 025(372)0755

【水戸部クリニックHP】

<http://homepage3.nifty.com/mitobe-clinikku/>

【漢方ブログ】 <http://mitobe-clinic.cocolog-nifty.com/blog/>

診療標榜科目 内科・消化器科・漢方内科

休 診 日 土曜午後、日曜祝祭日

	月	火	水	木	金	土
胃カメラ(予約制)8:30~			○	○	○	○
午前9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
午後3:00~ 6:00	○	○	○	○	○	



おめでとうございます。

20000年に大凧の街、南区

に父の医院を継承し、今年で
16年目になります。消化器内
科を中心に、内科一般を診療
しております。加えて、本院の
特徴として、開業当初より、漢
方薬を処方し、各種疾患及び
症状の治療をしております。

漢方薬は一つの方剤で複数
の症状に効果効能があります。
しかも漢方薬を複数処方
したり、一般の化学合成剤を
併用することにより、更に治
療の効果を上げています。

合わせて薬剤師である家
内が、漢方薬の服薬指導を行
いますので、患者さんの疑
問や質問にも対応しております。
漢方薬を服用してみたいとの希望が多く、新潟
市内をはじめ、他の市町村
からも来院されています。



職場訪問

B3病棟

腎・膠原病内科、代謝・内分泌内科、消化器内科、消化器外科

A棟

10F スカイラウンジ	展望図書館
9F 病棟	
8F 病棟	
7F ART/心臓リハビリ室 管理部門	
6F 病棟	
5F 病棟	
4F 病棟	
3F 手術室／ICU・CCU 連絡通路	3F 病棟
2F 人工腎臓透析室 管理部門	連絡通路 2F 地域連携福祉センター
IF 委付／会計／インփオーメーション科／各科外来／放射線科 リハビリテーション科／患者の声相談室／防災センター／ATM	



B3病棟は、病院の中では稼働率も高く、検査や处置事によって、安心して日常生活を送れると好評です。今後もこのような地域連携に取り組んでいきたいと思います。

(B3病棟 師長 早福久美子)

B3病棟は、腎・膠原病内科、代謝・内分泌内科、消化器内科、消化器外科の混合病棟です。

「良質な医療サービスの提供」という目標に向かって、看護師一同で力を合わせて毎日奮闘中です。チーム医療が充実できるように、毎週一回カンファレンスを行っています。

腎・膠原病内科、代謝・内分泌内科、消化器内科、消化器外科にそれぞれ、優しくすてきな女性の医師が職場の風土を和らげ、日々のコミュニケーションもばつちりです(皆さん4名の女性の医師をご存じでしょうか。まさか、知らないなんてありませんよね😊)。

B3病棟は、病院の中では稼働率も高く、検査や处置事によって、安心して日常生活を送れると好評です。今後もこのような地域連携に取り組んでいきたいと思います。





大町調剤薬局グループ
保険調剤
fafarmarai 薬局

950-1104 新潟市西区寺地453-2(おくすりタウン内)
TEL:025-234-3066/FAX:025-234-3067
営業時間:AM9:00~PM5:30 定休日:土曜・日曜・祝祭日



薬剤師の在宅訪問を行っております



当社ファーマみらいでは無菌設備があり
注射・点滴等の無菌製剤も取り扱っております

全快堂薬局 寺地店
済生会新潟第二病院
正面玄関を出てすぐ

新潟県内
64店舗
展開

営業時間
月曜日～金曜日/9:00～18:30
定休日
土曜・日曜・祝日/休局となります

 株式会社ファーマみらい

お子さんが病気で保育園等に預けられない…けど、どうしても仕事が休めない そんな西区のお父さん・お母さんをサポートいたします!

病児デイサービスセンター「病児保育室さいせいかい」




✿病気や病気回復期にあり、集団保育などが困難 ✿かかりつけの医療機関の医師が利用について差し支えないと判断
✿保護者が勤務等の都合により、家庭での保育が困難 ✿市内に居住する生後6ヶ月～小学校6年生まで これらのお子さんが対象

対象となる疾病・症状

- 日常罹患する疾患…**感冒、消化不良症**
- 慢性疾患…**喘息等**
- 外傷性疾患…**熱傷等**
- 伝染性疾患…**水痘、風疹等** (医師等が伝染力がないと判断した場合や隔離室にて保育が可能な場合)

●利用時間 / 7時30分～18時30分 ●利用料金 / 4時間超…2,000円 4時間以内…1,000円 原則 連続7日間まで利用可能

本園は新潟市病児デイサービス事業に該当する施設となりますので、利用対象、手続き等は全てこれに準拠します。詳細はお問い合わせください。(TEL.025-365-2432)




私たち
利用する方々の
権利を尊重し
信頼関係を
大切にします。

病院理念

私たち
医療人としての
自覚を持ち
質の高い医療を
提供します。

私たち
地域と共に
保健・医療・福祉の
充実を目指します。



地域医療支援病院 臨床研修病院 災害拠点病院 赤ちゃんにやさしい病院

社会福祉法人 恩賜財團 済生会 新潟第二病院

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地280-7 TEL.025-233-6161(代) FAX.025-233-8880

なでしこ
Cheers!

当院HPよりバックナンバーも
ご覧いただけます。

医療連携機関マップ
<http://saiseikaidainin-renkei.jp>



病院ホームページ
<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>



こちらも
注目



「済生会新潟第二病院」の Facebook 好評稼働中!